

【 中野区 】 胃がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	偶数年齢のみ
検査方法（胃部X線検査）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	35～39歳（偶数年齢）
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	77,727	84,996	162,723
【東京都調査による対象者率（区部）：60.5%】			
実際の受診者数	1,570	2,453	4,023

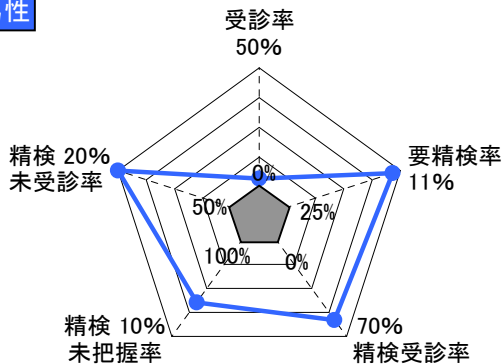
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

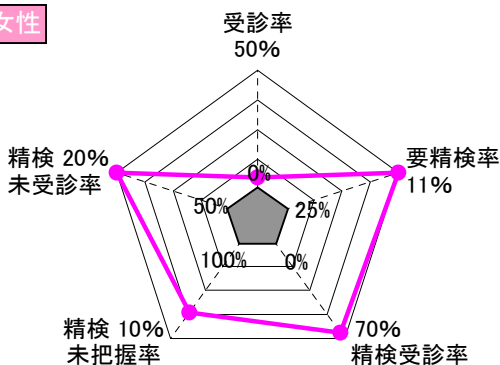
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.3%	4.8%	4.1%
要精検率	11%以下	12.0%	6.1%	8.4%
精検受診率	70%以上	58.0%	65.8%	61.4%
精検未把握率	10%以下	42.0%	34.2%	38.6%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	3.2%	0.7%	2.1%
がん発見率	0.11%以上	0.38%	0.04%	0.17%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【 中野区 】 肺がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	77,727	84,996	162,723
【東京都調査による対象者率（区部）：66.6%】			
実際の受診者数	3,205	4,149	7,354

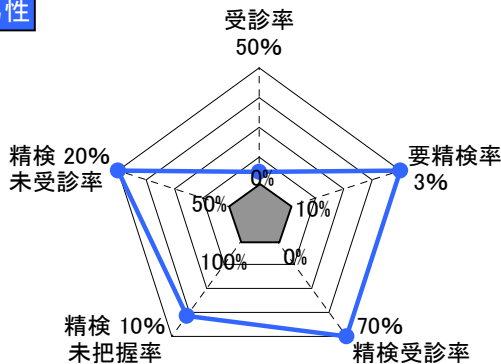
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

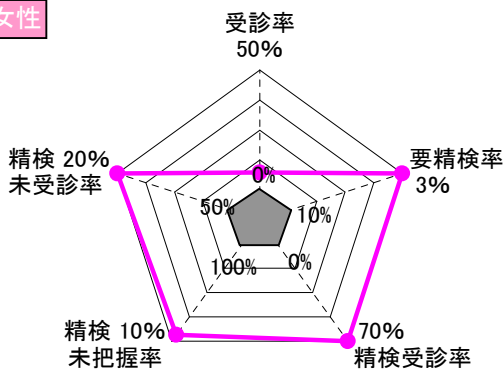
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	6.2%	7.3%	6.8%
要精検率	3%以下	2.0%	1.2%	1.6%
精検受診率	70%以上	70.8%	84.3%	76.7%
精検未把握率	10%以下	29.2%	15.7%	23.3%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	4.6%	2.0%	3.4%
がん発見率	0.03%以上	0.09%	0.02%	0.05%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 中野区 】 大腸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	35~39歳
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	77,727	84,996	162,723
【東京都調査による対象者率(区部): 66.3%】			
実際の受診者数	9,194	17,649	26,843

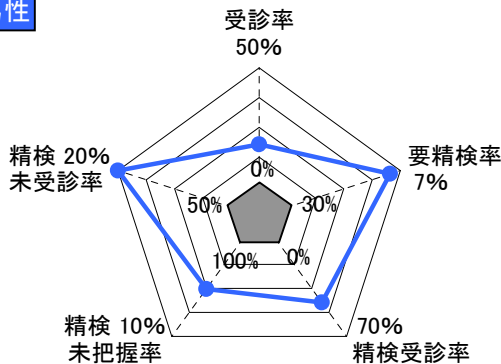
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

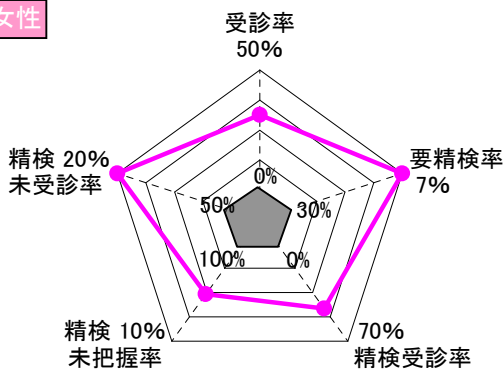
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	17.8%	31.3%	24.9%
要精検率	7%以下	9.1%	6.4%	7.3%
精検受診率	70%以上	45.4%	46.5%	46.0%
精検未把握率	10%以下	54.6%	53.5%	54.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	1.6%	2.2%	1.9%
がん発見率	0.13%以上	0.14%	0.14%	0.14%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 中野区 】 子宮頸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		137,643	
【東京都調査による対象者率（区部）：63.7%】			
実際の受診者数		17,540	

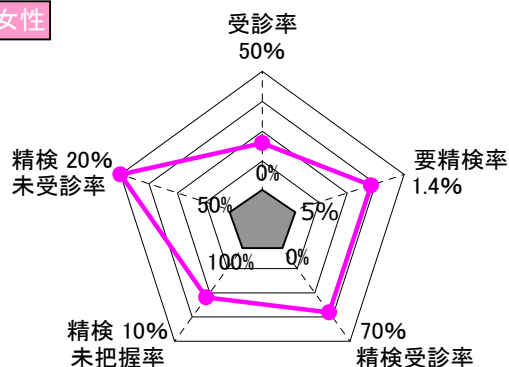
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		20.0%	
要精検率	1.4%以下		2.5%	
精検受診率	70%以上		49.1%	
精検未把握率	10%以下		50.9%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.7%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 中野区 】 乳がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく乳がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		84,996	
【東京都調査による対象者率（区部）：72.3%】			
実際の受診者数		12,750	

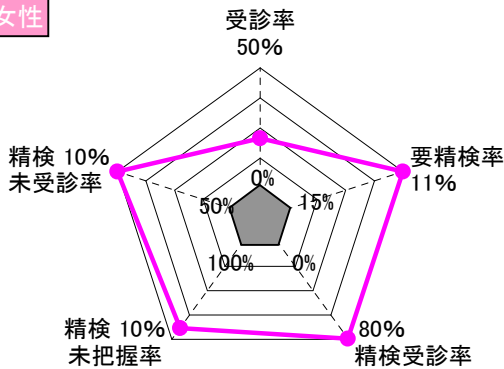
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		20.7%	
要精検率	11%以下		7.2%	
精検受診率	80%以上		79.5%	
精検未把握率	10%以下		20.5%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		2.5%	
がん発見率	0.23%以上		0.18%	

女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。